

民具・楽器

アイヌの民具として「マキリ」や「イクパスイ」・「トマ」などがあります。

「マキリ」とは、アイヌ文様が施された小刀です。使用用途としては、木彫りや皮剥ぎなど様々な場面で利用されていました。

「イクパスイ」とは、木製の幅が3～5cm、長さが30cmほどの酒を捧げる祭具です。イクパスイは、カムイや先祖のもとに酒を届け、人間による祈り詞に不足がないように補ってくれる力があります。使用する際は先端(せんたん)に酒をつけ、祭神(さいしん)の方へ向けて揺らします。そして置くときは先端を祭神に向けて置きます。

「トマ」は、アイヌの敷物です。敷物として使うだけではなく、チセ内の壁に張りめぐらせたり、屋外(おくがい)で穀物(こくもつ)を干すときにも使用されます。



写真1：マキリ(個人蔵)



写真2：イクパスイ(個人蔵)

楽器は、「トンコリ」や「ムックリ」などがあります。

「トンコリ」は、樺太アイヌの楽器で、五弦琴という中国由来の楽器とされています。演奏方法としては、膝の上に乗せて抱え、指で弾くことで音が出ます。

「ムックリ」とは、アイヌ楽器の中で口琴(こうきん)楽器と言われるもので、一人で演奏する楽器です。演奏方法は、息の強弱や舌使いによってさまざまな音色を出すことができます。

音の表現は人それぞれで、雨の音や冬の吹雪の音などの自然音から、動物の鳴き声などの生物の声まで幅広く音を出し表現することもできます。

【参考文献(抜粋)】

- ・萱野茂 1978 『アイヌの民具』 すずさわ書店
- ・瀬川拓郎 2019 『1時間でわかるアイヌの文化と歴史』 宝島社